

と母も喜んでいました。でも、いくら納めやすくなっても滞納はな
くならないそうです。納めたくても納められ
ない人がいるのが事実です。その一方で税金
を納めたくない人もいるのです。そこで、な
ぜ、税金を納めたくない人がいるのか考えて
みました。それは税金は取られるものとい
う感覚があるからではないでしょうか。歴史で
も、年貢の負担に耐えかねた農民が一揆を起
こしたと習いました。お金と米の違いはあっ
ても、取られるものという感覚が残っている
のは同じで、進んで払おうという気持ちにな
らず不満がつるのは当然です。
では、税金を気持ちよく納めてもらうには
どうすれば良いでしょうか。まず、複雑な税
金の計算方法を少しでも分かりやすくしてい
くことが必要だと思えます。以前、試しに市
民税の計算方法を父に聞いてみたのですが、
馴染みのない言葉が沢山でてきて、さっぱり
分かりませんでした。その上よく法改正があ

るそうです。税金は身近なものだけでも固定資産税、健康保険税、不動産取得税、相続税贈与税、それに消費税などがあり、それぞれに複雑な計算方法があり、とても理解できません。少しでもシンプルな制度にしていくことが必要だと思います。次に、税金の使われ方を、国が国民に対し分かりやすく説明していくことが必要です。日本は国民が等しく医療を受けられる国です。また、私たちの教科書も無償で配布されていますし、学校の校舎を立て直したり、災害復興が速やかに行われるのも税金の力です。このようなことを、丁寧に説明していくことで国民の意識も変わっていくのではないのでしょうか。また、それと同時に私たちも積極的に税について学ぶ姿勢を持つべきだと思います。

税金は、私たちの生活をより良くしていくために必要であることを自覚し、自分が大人になったら、気持ちよく納税したいです。